

中日農業科学技術協力 20 周年学術シンポジウム 挨拶

唐華俊 中国農業科学院院長

まず、中国農業科学院を代表いたしまして、「中日農業科学技術協力 20 周年学術シンポジウム」の開催をお祝い申し上げます。ご臨席の各指導者、中日両国の代表の皆様を心より歓迎の意を表します。

中日両国は一衣帯水の隣国であり、農業分野において両国は密接かつ悠久なる交流の歴史を有しております。改革開放以来、農業科学技術分野における両国の交流が活発となり、苗投げ栽培と早育稀植栽培が日本から中国に導入されました。特に 1997 年、中国農業部と日本農林水産省が農業科学技術協力協議を締結して以来、中国農業科学院と日本国際農林水産業研究センターが 20 年間にもわたって緊密な協力をを行い、農業資源の効率的利用、環境にやさしい農業経営システムの構築・評価、及び農業高付加価値産業チェーンの研究など、多岐にわたった分野において幅広く協力と交流を行い、実り多い科学研究成果を収めてきました。農業のグリーン化・生態化と持続可能な発展に向けた技術的支援、制度及び政策案を提供したのみならず、一連の協力・科学技術共同展開のプラットフォームを構築してきました。中国と世界の食糧安全保障に大きく寄与してきました。

この度のシンポジウムはここ 20 年間の協力の歩み、交流・協力成果を振り返るほか、今後の協力を展望し、協力の重要ポイント、協力メカニズムと協力のロードマップを明確化する狙いでございます。この度のシンポジウムを、中日双方の農業管理部門は非常に重要視しております。シンポジウムが成功裏に開催されますようお祈り申し上げます。

中国農業科学院は国際交流と協力を重要視しており、国際的視野を以て科学技術に関する開かれた協力を図っております。我々は 81 か国、33 の国際機関、6 社の多国籍企業及びビル&メリンダ・ゲイツ財団と科学技術協力関係を結びました。中国農業科学院において 13 の国際機関が中国駐在員事務所を設け、共同実験室や共同研究センターを 62 か所共同構築してきました。中国農業科学院は終始「世界一流の農業科学研究機関」を目標にし、「産業の重要な科学技術のニーズに対応し、世界農業の科学技術の上位へ躍進する」ことを使命として、農業科学技術において世界各国と積極的に協力を推進しております。

第一期中日農業協力プロジェクトの担当者として、私はプロジェクト成立から本格的スタート、後期の飛躍的な発展の段階まで見守ってきました。さらに、中日両国の農業科学技術の進歩と農業の発展を推進する中で、プロジェクトによる成果がどれほど積極的な役割を果たしたのか、そしてプロジェクトの今後の発展潜在力がどれほど大きいかということを実感しております。ご臨席の専門家の皆様、学者の皆様が事業を受け継ぎ、将来の発展に道を開くことを通じ、中日農業科学技術の協力をより一層高いレベルへと押し上げていくように切に望んでおります。

本シンポジウムにおいて、中日両国の科学者は国際農業環境研究の進捗、中日両国の農業

政策の比較、中国現代農業の発展などの分野をめぐり基調報告を行い、食料供給の予測、農業気候変動、農業・地理リモートセンシングなどの技術分野をめぐり幅広く交流と議論を行う予定でございます。そのため、以下三つを提案させていただきます。

一、次の二十年の農業科学技術協力の中で、中日両国は政策協調・ドッキングと協力枠組みのトップデザインを如何にすべきかと考え、将来に向けて青写真、良好な協力政策・メカニズム及び明確化したロードマップを提供する必要があるでしょう。

二、優先協力分野を明確化し、APEC、アセアン10+3、CGIARなどの既存・将来の二国間協力メカニズムを活用し、メンバー国間の協力を強める必要があるでしょう。

三、共同協力プラットフォームと人材育成活動の計画を拡充し、「国の交わりが民の親しむにあり」と言われますように、両国の科学技術者の交流に向けより大きな力と資金を投入し、相互理解をより一層深め、ハイレベルな協力に向けて土台を作り上げる必要があるでしょう。

より幅広い分野における農業科学技術の協力に向け、本シンポジウムが確固たる土台を固めることになると信じております。中国農業科学院は一貫して科学技術における中日両国の協力と交流を支えていきます。

本日、私たちはまた「中国農業科学院－日本国際農林水産業研究センター農業発展研究連合実験室」の看板の上掲式に立ち会いました。今後、中日両国がより高いレベルの農業科学技術協力を行うために、連合実験室が新たなスタートラインになるようお祈り申し上げます。

最後に、本シンポジウムが円満な成功を収めますよう、そして皆様の北京でのご滞在が良い思い出になりますようお祈り申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。